

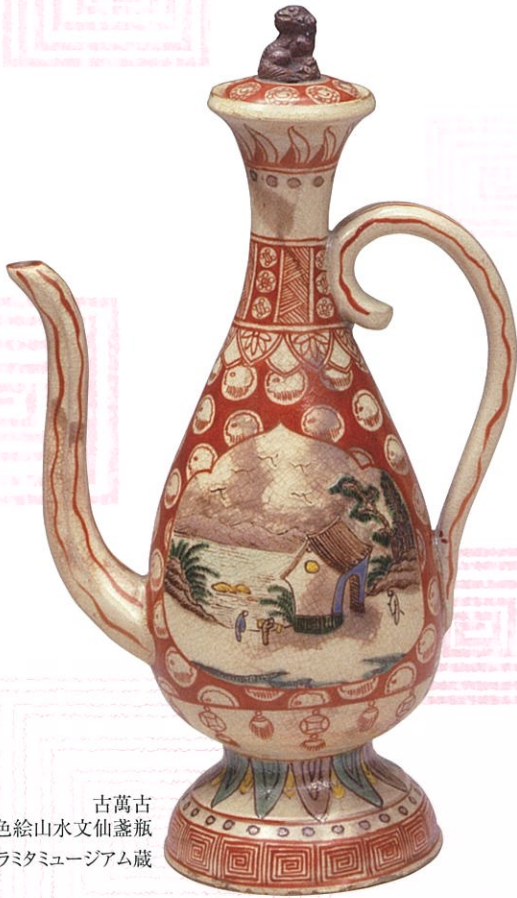
# 北勢萬古 名品展

北勢地区所蔵館の名品を集めて

平成28年

11月17日(木)～12月25日(日)

※会期中無休



古萬古  
色絵山水文仙蓋瓶  
パラミタミュージアム蔵



有節萬古  
赤絵窓蛤文耳付花生  
桑名市博物館蔵



有節萬古  
腥臙脂釉御神酒器(三重県指定有形文化財)  
小向神社蔵(朝日町歴史博物館寄託)

- ◆ 会場 パラミタミュージアム 2階展示室
- ◆ 開館時間 午前9時30分～午後5時30分(最終入館は午後5時まで)
- ◆ 入館料 一般 1,000円(4枚セット券3,000円)/大学生 800円  
高校生 500円/中学生以下無料
- ◆ 主催 公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム
- ◆ 後援 中日新聞社、伊勢新聞社、朝日新聞社、読売新聞社、  
NHK津放送局、三重テレビ放送
- ◆ 特別協力 朝日町歴史博物館、桑名市博物館

◆ 関連イベント 11月27日(日)午後2時～ 当館学芸員による列品解説

paramitamuseum  
公益財団法人岡田文化財団

公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6

Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077

E-mail office@paramitamuseum.com http://www.paramitamuseum.com

Facebook www.facebook.com/paramitamuseum Twitter @paramita\_muse

# 北勢萬古名品展

北勢地区所蔵館の名品を集めて

江戸時代中期元文年間(1736~41)に桑名の豪商沼波弄山(1718~77)が別邸のあった小向村(現 三重郡朝日町)に窯を築き、始めたのが「萬古焼」です。その名は弄山が自身の作品が末永く伝世することを願って捺した「萬古不易」「萬古」の印章に由来します。

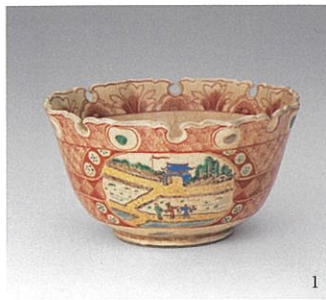
弄山一代で途絶えた萬古焼は、江戸時代後期には四日市、津、松阪などの各地で再興され、時代と共に発展を遂げました。これら弄山以後に各地で焼かれた萬古焼に対し、弄山が生み出した国内外の写し物や異国情緒あふれる茶陶の数々は「古萬古」と呼ばれ区別されています。

パラミタミュージアムでは開館以来、萬古焼を蒐集し、現在では最初期の古萬古から昭和萬古まで約1200点を収蔵、質・量ともに充実したコレクションとなり、これらを常設展示の中で展示してきました。

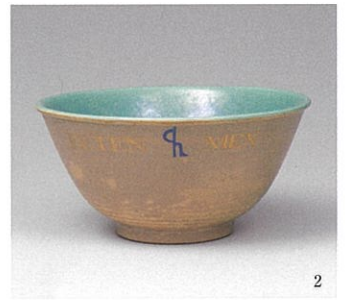
また弄山生誕の地にある桑名市博物館、有節萬古ゆかりの資料を多く所蔵する朝日町歴史博物館では、萬古焼の公開・研究が進められています。

本展では最初期の古萬古と、森有節・千秋兄弟が始めた有節萬古に焦点をあて、また有節萬古の木型や絵付け関係資料などを含め、朝日町歴史博物館・桑名市博物館・パラミタミュージアムの各館が所蔵する萬古焼の名品を一堂に展示します。

この機会に古萬古の幅広い作風と、有節萬古の腥臙脂釉作品や草花文様が施された作品など細やかで優美な世界をお楽しみください。



1



2



3



4



5



6



7



8



9

- |  |                                 |
|--|---------------------------------|
| 1 古萬古 色絵山水雪輪鉢<br>パラミタミュージアム蔵                 | 2 古萬古 青釉和蘭字文鉢<br>パラミタミュージアム蔵    |
| 3 古萬古 赤絵人物文水盤(桑名市指定有形文化財)<br>桑名市博物館蔵         | 4 古萬古 赤楽松文茶碗<br>桑名市博物館蔵         |
| 5 有節萬古 赤絵山水文急須<br>朝日町歴史博物館蔵                  | 6 有節萬古 木型造桜花紅葉文急須<br>朝日町歴史博物館蔵  |
| 7 有節萬古 腥臙脂釉食籠(朝日町指定有形文化財)<br>個人蔵(朝日町歴史博物館寄託) | 8 有節萬古 色絵四季草花文大皿<br>パラミタミュージアム蔵 |
| 9 帆山唯念 鶉・秋草図建具<br>パラミタミュージアム蔵                |                                 |

## 次回展示のお知らせ

会期 平成29年 1月2日(月・振休) ~ 2月5日(日) 没後30年 河本五郎展 染付・赤絵 美の境地

瀬戸の伝統染付の家に生まれながらロクロ成型による作陶を30代で捨て、手捻りによる制作を追及した陶芸家 河本五郎(1919~1986)。土の素材感を引き出しながら、独自の個性的な造形を目指した作風は、現在でも国内外で高い評価を受けています。本展では当館が収蔵する河本五郎作品をはじめ、河本家所蔵の作品も展示します。

同時開催  
新収蔵品を中心に  
近現代日本の巨匠たち

当館のコレクションは平面作品から立体作品まで多岐にわたる作品群により構成されており、その数は4200点におよびます。本展覧会では近年新収蔵された片岡球子「めでたき富士」、中川一政「薔薇 マジョリカ壺」、前田青都「富士」などを中心に、絵画・陶芸作品などを織り交ぜてご紹介いたします。

■お車をご利用の場合 / 東名阪「四日市I.C.」より国道477号(湯の山街道)を湯の山方面へ約6.5km。 ■無料駐車場有り(普通車100台、大型バス駐車可)  
■電車をご利用の場合 / 近鉄「四日市駅」下車、近鉄湯の山線に乗り換え約25分、「大羽根園駅」下車、西へ300m。 ■全館バリアフリー、車椅子常備

